

— 一般質問 (令和8年第3回中間市議会定例会)

令和8年6月18日

NO. 1

質問者	質問事項・要旨	指定答弁者
柴田 広 辞	<p>1. 中間市中長期財政収支試算を踏まえた持続可能な財政運営について</p> <p>(1) 危機認識について伺います。 (2) 原因分析について伺います。 (3) これまでの財政改善の評価について伺います。 (4) 「選択と集中」の具体化について伺います。 (5) 公共施設マネジメントについて伺います。 (6) 新たな財源確保策について伺います。 (7) 財政規律について伺います。 (8) 市民との情報共有について伺います。 (9) 福田市長の決意について伺います。</p>	市長 担当部長
阿部 伊知雄	<p>1. 昨年よりさらに高温が予想される今夏の熱中症予防対策について</p> <p>今年の夏は、昨年の夏よりもさらに高温になると気象庁は予想しています。すでに5月18日に大分県日田市と兵庫県豊岡市で、35度を超える猛暑日がありました。そこで今夏の市の熱中症対策について伺います。</p> <p>(1) 令和7年度、中間市内での熱中症による救急搬送人員と発生場所について伺います。 (2) 今年の夏の高温に備え、熱中症予防に関し執行部はどのような対策を考えているのでしょうか。特にクーリングシェルトアの設置について伺います。 (3) やすらぎ通りにある2つの大型商業施設を結ぶ通路を両商業施設間で行き来できるようにし、その通路に市民が涼むことのできるクーリングシェルトアをつくることについて、市の見解を伺います。 (4) 大塚製薬と連携協定を結んでいる中間市として、ポカリスエットなどのスポーツ飲料を熱中症予防のために、小中学校の児童生徒にタイミングを見て配布することについて、市の見解を伺います。</p>	市長 担当部長
	<p>2. 中東情勢による市民生活への影響に対する中間市の対応について</p> <p>中東とアメリカの緊迫した情勢が長引き、原油を原料とした製品の品不足や物価の高騰が継続しています。この状況は医療や運輸業、製造業、飲食業など社会のあらゆる分野に波及しています。しかし、事業者や市民に対する支援策は、3月の当初予算の中には入っていません。そこで伺います。</p> <p>(1) このような社会情勢において、中間市内の事業者や市民生活にどのような影響が出ていると、市の執行部は感じているのでしょうか。 (2) 現在、中間市として市民生活の支援、市内事業者への支援として何か対策を検討しているのでしょうか。</p>	市長 担当部長